

令和7年度宮前区市民提案型総合情報発信事業報告会 摘録 (公開)

日時：令和8年3月13日(金) 14:00~14:55

場所：宮前区役所4階 大会議室(公開)

出席委員：石崎徹委員、人見雅子委員、渡邊早貴委員

齋藤区長、玉井企画課長、小西課長補佐、寺田主任、鈴木職員、高見職員

事業実施団体：推し活 MIYAMAE、アースリングスプロジェクト

事業報告会(公開)

- 1 開 会
- 2 区長挨拶
- 3 審査委員紹介
- 4 事務局による概要説明
- 5 事業実施団体による報告及び質疑応答
 - (1) リアル MIYAMAE !
推し活 MIYAMAE
 - (2) 『区民全員アーティスト宣言!宮前区役所つながる美術館
アースリングスプロジェクト
- 6 閉 会

事業報告会（公開）

（玉井企画課長）

それでは、定刻となりましたので、「令和7年度宮前区市民提案型総合情報発信事業報告会」を始めさせていただきます。本日は、お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。事務局として司会を務めさせていただきます、宮前区役所企画課長の玉井と申します。よろしく願いいたします。はじめに、本日審査をお願いする審査委員を御紹介いたします。専修大学経営学部教授 石崎徹委員、公益財団法人かわさき市民活動センター市民活動推進課事業推進係 人見雅子委員、イツツ・コミュニケーションズ株式会社コミュニケーションデザイン本部メディアコンテンツ部 企画広告チーム 渡邊早貴委員。以上の3名でございます。審査委員会の会長は、石崎委員が務めます。なお、宮前区役所副区長である小泉委員につきましては、本日公務のため欠席とさせていただきます。

それでは次に、本日の大まかな流れについて御説明します。傍聴にいらしている皆様のお手元に配布させていただきました次第を御覧ください。本日の事業報告会は、令和7年度宮前区市民提案型総合情報発信事業の事業報告として、今年度採択した2つの事業の成果を評価し、来年度以降の取組の参考としていただくために行うものです。各事業実施団体が公開の場で事業実施内容や事業を実施したことによる効果等を説明し、その後、審査委員会委員の皆様による質疑を実施します。さて、事業報告の流れですが、1事業ごとに事業実施団体から発表していただきます。1事業あたりの時間配分は、発表が10分間、質疑応答が10分間となっております。質疑応答終了後に次の団体の発表まで2分間ございますので、その間に、次の団体の発表者は発表の準備をお願いいたします。私の方から団体名を紹介した後に事業報告を開始してください。各団体の発表と質疑応答の時間については、終了の1分前に事務局がベルを1回ならします。終了時間になりましたらベルを2回鳴らしますので、すみやかに発言を終了するよう、御協力をお願いいたします。説明につきましては、前方の「発表」と貼ってある机のところをお願いいたします。事前にお送りいただいた発表用の電子データにつきましては、机に置いてあるパソコンのデスクトップに、提案団体名を付けたフォルダがあり、その中に格納しています。発表開始前の準備の時間にそのフォルダから電子ファイルを開いていただいて、発表に使用してください。最後に3つほど、諸注意を申し上げます。この事業報告会は、川崎市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき公開で行いますので、傍聴を認めておりますが、傍聴の方につきましては、質問を行う等、発言はできませんので、御了承ください。また、記録、広報等の資料といたしまして写真撮影をさせていただきますので、御了承をお願いいたします。なお、お持ちの携帯電話につきましては、マナーモードに設定するか電源を切るようお願いいたします。事業報告会の終了予定時刻は14時55分を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。以上です。よろしければ事業報告会に入らせていただきます。

【推し活 MIYAMAE】

〈発表〉

〈質疑応答〉

(人見委員)

素晴らしい一冊になったと思う。これからの反応が楽しみ。この冊子を使ったツアーも行うということで、その反響も楽しみ。この冊子の反応というのはどのように集める予定か。

(事業実施団体)

SNSという双方向のメディアがあるので、その中で皆さんの反応を確認するとともに、地域の方からも情報収集をしていけたらと思っている。

(渡邊委員)

区民主体で紹介するというのが一番の強みだと思った。クロスメディア展開も良い取組だと思う。多くの方がなんかやってみたいな、してみたいなと思っても、一歩踏み出すのに勇気が必要なので、地域コミュニティへの参加のきっかけに、この冊子があると素敵だなと思った。作成した冊子の配布先は検討しているのか。

(事業実施団体)

区役所を中心に配布する予定。推し活 MIYAMAE では、取材させてもらったお店や施設に訪問して置いてもらう予定。地域活動の中には、組織に所属していなくても積極的に活動されている人がいる。冊子を作成していく中で色々な知り合いもできたので、そういった人たちへも冊子をお渡ししていきたい。

(渡邊委員)

冊子を通じて、リアルに接点を広げていただければと思う。

(石崎委員)

今回の活動を通じて解決すべき課題があれば教えてもらいたい。

(事業実施団体)

メンバーそれぞれに思ったことは違うかもしれないが、子育てのページを作成する中で、メンバー全員が子育てを終えているので、今、子育てをしている人に取材をした。そういう意味では、メンバーに世代の偏りがあるのが課題の1つだと感じている。我々自身がもう少し魅力的な行動を起こしたり、発信したりすることで、もう少し幅広い世代のメンバーを集めていきたい。そうすることで、SNSの活動も幅が広がると感じた。また、地域の特性として、田園都市線、東名高速を中心に区が成り立っていて、東急から離れた場所は動きづらく情報も入りづらい印象。今回の取材で多くの場所を回ったが、特に北側のエリアは、お店や商業施設も少ないことにあらためて気づいた。

(石崎委員)

SNSを使っていくとなると使い方によってはある世代に届かない使い方になってしまうこともあると思うので、若いメンバーが来てくれると良いと感じた。

【アースリングプロジェクト】

〈発表〉

〈質疑応答〉

（渡邊委員）

色々なところを絡めて、たくさんの企画を立ち上げ、苦労もあって大変だっただろうと感じた。作品の募集、スタンプラリーの参加者はどのくらい想定していたか。実際にやってみて、当初の想定通りだったのか別の新しい何かが見えたのか教えていただきたい。

（事業実施団体）

当初の考えからは、思ってもみなかった広がりを作ることができたと思っている。進めていく中で、新しい企画が次々と生まれた面があり、当初よりも楽しい企画ができたと思う。

（人見委員）

最初に企画のプレゼンを聞いた時、作品を集めて区役所を美術館にするというのは想像がついたが、関連企画についてはお話を聞いただけではピンとこなかった。しかし、実際に見てみると、私が知っていたアートはごく一部で、アートという名前をつけなくても様々な企画が皆さんを笑顔にしていると感じた。つながる美術館も拝見した。特に、チラシの置いてあるところにポップをつけるアイデア、そこに何か一言あるだけで、何か気になるってというのは、今までなかったアイデアで、表現するものの力なんだなと思った。次年度の取組も楽しみだし、色々な人を巻き込んで、いつも宮前区が何かやっているとわくわくするなと感じた。

（石崎委員）

諸活動を通じて、お客さんがファンになって、色々な活動に参加したといったことはあったのか。

（事業実施団体）

ファンとっていいのか分からないが、何度も同じ方が企画に足を運んでくれたことはあって、私自身も嬉しかった。

（石崎委員）

そういうところから区民の方の関わりが強くなれば良いと思った。

（玉井企画課長）

事業実施団体から審査委員に何かありますか。

（事業実施団体）

来年度実施していく中で、何かお気づきの点やアイデアがあればお聞きしたい。

（人見委員）

プレゼン資料の中では飲食店がピックアップされていたが、実際に工作をやっているのは幼稚園や保育園なので、そういったところとコラボしたら楽しそうだなと思った。

（渡邊委員）

小さいお子さんがいらっしゃる家庭は、外に出るきっかけもなかなか持てない場合もあると思うので、そういった方も参加できるような企画があれば気分転換にもなって良いと思った。

(石崎委員)

各活動を一通貫するコンセプトがあるといいなと思った。アースリングスプロジェクトの概念的なコンセプトはあるが、つながる美術館やロゴマークの作品募集などをやっているときに、それぞれの関連性というのが出てくるコンセプトがあると、情報発信をする上で分かりやすくなると思う。そうすると、活動に対しての理解度、難しい言葉で言うと、理解度情報周知単純化機能という、説明しなくても伝わる状態になるので、アースリングスプロジェクトをブランド化して、そのブランドのもと活動をしているというのが見えると良いなと感じた。

(事業実施団体)

アースリングスプロジェクトでHPを制作中で、そこでコンセプトを打ち出していきたいと思っていた。ありがとうございます。

(玉井企画課長)

以上で、2事業の報告及び質疑応答が終了しました。審査委員の皆様、事業実施団体の皆様、どうもありがとうございました。事業実施団体の皆様におかれましては、本日の主な御意見を各団体の今後の取組の参考としていただければ幸いです。閉会に当たり、区長から御挨拶を申し上げます。

(齋藤区長)

皆様、本日は大変お疲れ様でした。会場への到着が少し遅れましたこと、まずはお詫び申し上げます。今年度の提案事業に取り組んでいただいた皆様、本当にありがとうございました。そして審査員の皆様におかれましては、多大なるお力添えをいただき、貴重なアドバイス・ご意見に心より感謝申し上げます。今年度実施された2つの事業について、1年間拝見させていただきました。まず推し活 MIYAMAE の皆様につきましては、私が2年前に区長として着任した際、宮前区の魅力をパッと紹介できる冊子が手元に欲しいと感じておりました。当時あった資料は数年前のもので情報が古くなっていたため、今回皆様の手によって、宮前区のまさに今の情報、魅力を発信できるものとして出来上がったなと思っております。また、アースリングスプロジェクトにつきましては、アートを軸に様々な企画を立ち上げ、実施していただきました。単なる魅力発信に留まらず、区のいろいろなところで活動いただけたなと思っております。そのおかげで、人と人、あるいは団体同士、本当にいろいろなところがつながったなと感じています。これは、推し活 MIYAMAE の皆様がいいろいろなところを歩いて取材をしていただいた、そういった活動も大きかったかなと思いました。先ほどの報告の中で、課題として世代間というお話もございました。これは区役所全体としても課題と考えています。今回の活動は、単なる情報発信を超えて、そうした地域課題の解決につながる一歩になったなと思っております。両団体の皆様には、先ほど

もお話ありましたように、次年度も引き続き取り組んでいただけると聞いております。区役所といたしましても、今回の報告内容を踏まえ、より効果的な事業展開ができるよう一緒に考えながら次年度も進めていけたらと思っております。本日はありがとうございました。

(玉井企画課長)

ありがとうございました。以上で、「令和7年度宮前区市民提案型総合情報発信事業報告会」を終了させていただきます。審査委員の皆様は、休憩後、15時05分までに第2会議室に御移動をお願いいたします。本日は、誠にありがとうございました。

以上